

工業科

科目名	単位数	学年	学科
自動車工学	2単位	3年(選択)	農業機械科

教科書	自動車工学 1	副教材	なし
-----	---------	-----	----

科目の目標	自動車用エンジンについて、そのしくみや働き、さらにそれらの性能について理解させ、実際に活用する能力と態度を育てる。
-------	---

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・技能	②思考・判断・表現
1 学期	第3章 自動車用エンジン 1 ガソリンエンジン 1. ガソリンエンジンの構成 2. エンジン本体 3. 燃料装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用エンジンの構造・機能・性能および付属装置としての点火・燃焼・潤滑・冷却等の各装置の構造と働きについて理解している。</li> <li>排出ガス対策と規制など自動車の環境保全に関する知識を習得し、自動車用エンジンの実習などで観察し、実際に活用できる能力と態度が身についている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用エンジンの構造・機能および環境に配慮したエンジンの性能について、自ら思いを深める能力が身についている。</li> </ul>
2 学期	4. 吸気装置 5. 点火装置 6. 潤滑装置 7. 冷却装置 8. 排気装置 9. ガソリンエンジンと環境保全 2 ディーゼルエンジン		
3 学期	3 その他の原動機 1. ハイブリッド車 2. 電気自動車 3. 燃料電池車		
<p>1 ガソリンエンジン本体のしくみや働きについて理解しましょう。</p> <p>2 ガソリンエンジンの付属装置のしくみと働きについて理解しましょう。</p> <p>3 ハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池車のしくみと働きについて理解しましょう。</p>			

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	自動車用エンジンや付属装置の構造・機能・性能について理解し、実際に作業に活用できる。
②	思考・判断・表現	自動車用エンジンの構造・機能および環境に配慮したエンジンの性能について、自ら思考・判断し、課題を解決する能力が身についている。
③	主体的に学習に取り組む態度	意欲的に課題に取り組む姿勢が身に付いている。 学習内容に対して関心を持っている。
定期考査	1 学期中間・期末 2 学期中間・期末 学年末 (計5回)	
評価方法 (観点番号)	以下を総合的に評価する。 ①知識・技能 (定期考査、作業プリント、小テスト) ②思考・判断・表現 (定期考査、作業プリント、小テスト) ③主体的に学習に取り組む態度 (授業態度、出欠、ノート)	